

1  フランス語から見た「世界」

オープンアカデミー 2015年 10月20日  
「言語とその周辺をきわめる」

東京外国語大学 講師 秋廣尚恵

2  はじめに

1. フランス語を話している国や地域
- 2.
2. フランス語を通して見る現実世界

3 

1. フランス語の話されている国や地域

4  1. 1. ヨーロッパにおけるフランス語

- ヨーロッパにおけるフランス語話者の総数は？  
70,000,000人である。
- 母語であり、公用語でもある国は？  
フランス共和国・モナコ公国
- 公用語の一つである国は？  
ベルギー王国・スイス連邦・ルクセンブルグ大公国
- 地域言語の一つである国は？  
アンドラ公国

5  1. 2. 海外県・特別領土・海外領土

- 海外(準)県には、どんな地域がありますか。  
グアドループ・マルティニーク・仏領ギアナ・レウニオン  
マイヨット仏領ポリネシア・サンピエール・ミクロン島  
ウオリス・フツナ諸島・サンマルタン島・サンバテルミー島
- 特別領土には、どんな地域がありますか。  
ニューカレドニア
- 海外領土には、どんな地域がありますか。  
フランス領南方、南極地域

6  1. 3. アフリカ地域

- フランス語を公用語としているアフリカの国は？  
ベニン王国・ブルキナファソ・中央アフリカ共和国  
コンゴ民主共和国・コートジボワール共和国・ガボン共和国  
マリ共和国・ナイジェリア連邦共和国・セネガル共和国  
トーゴ共和国
- フランス語を第2言語としているアフリカの国は？  
アルジェリア民主人民共和国・チュニジア共和国・モロッコ王国  
カメルーン共和国・マダガスカル共和国・モーリシャス共和国  
ブルンジ共和国・ルワンダ共和国・ハイチ共和国・セーシェル共和国

7  1. 4. アメリカ大陸

- アメリカ大陸でフランス語を公用語としている地域は？

カナダのケベック州

■その他の地域は？

オンタリオ州、ニューブルンズウィック

ニューイングランドや、

ルイジアナにあるいくつかのコミュニティ

8  1. 3. アジア、その他

■フランス語が比較的良好に話されている地域は？

ベトナム社会主義共和国・コモロ連合

ジブチ共和国など

■中東世界でも、比較的良好なフランス語が浸透している国は？

イスラエル国・レバノン共和国など

9  フランス語が使われている地域

紫色 = フランス語が母国語として使用されている地域

緑色 = フランス語が公用語として使用されている地域

オレンジ = ある程度フランス語が使用されている地域

10  1. 4. フランス語のバリエーション

■地域的な違いによるもの

様々なフランス語圏・フランス国内の様々な地域により、バリエーションが生じる。

参考：<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/fr/>

■社会階層的な違いによるもの

幼児語・若者言葉・業界用語など

11 

■媒体による違い

書き言葉のフランス語と話し言葉のフランス語

Tu as mangé? T' as mangé?

■文体的な違い

インフォーマルな文体と丁寧な文体

代名詞の使用、語彙の選択、省略の頻度など。

12 

2. フランス語からみた現実世界

13  フランス語を学ぼう！

14  フランス語の特徴(音声面)

①フランス語の母音の数はいくつあるでしょうか？

フランス語の母音の数は、16個です！

15  フランス語の特徴(音声面)

## ■ アンシェヌマン:

意味的に緊密に結びついた語を連続的に発音する。

Il a cinq ans を発音してみましょう。

## ■ リエゾン:

単独で読むときには発音しなかった語末子音を次の語頭の母音とくっつけて発音する。

C' est très utile を発音してみましょう。

16  フランス語の特徴(形態論)

## ■ 動詞の活用がたくさんある。

PREMDRE (4つの法、3つの時制、2つのアスペクト)

17  動詞の時制

## ■ 動詞の時制形は必ずしも1つ1つの『時(現在・過去・未来)』に対応してはいません。

Si tu étais ici, quel bonheur !

君がここにいたら、どんなに幸せなことか！

J' ai une réunion à 10h demain.

明日10時に会議があるんだ。

Je ne trouve pas le chocolat ; ce sera Claire qui l' aura mangé

チョコレートが見当たらないんだけど。多分、クレールが食べちゃったんだろう。

■

■

18  フランス語の特徴(語順)

## ■ SVO語順である。

J' aime le chocolat. 私はチョコレートが好きだ。

## ■ 従属節の基本的な位置は、主節の後であるが、一部は主節の前に出ることもある。

Je suis rentré chez moi, parce que j' étais fatigué.

疲れていたんで、家に帰った。

## ■ 連体修飾節の基本的な位置は、名詞の後であるが、一部は名詞の前に出ることもある。

J' ai vu un homme qui portait un chapeau bleu.

19 

## ■ 形容詞は、名詞の前に出ることもあれば、後ろに出ることもある。

Un beau bébé 立派な赤ちゃん

Un bébé facile 手の掛からない赤ちゃん

## ■ 同じ形容詞でも、その位置によって意味が異なる場合もある。

Des hommes pauvres 貧しい人たち

De pauvres hommes 哀れな人たち

20  フランス語の特徴(統語論)

## ■ 名詞は性・数のカテゴリーを有する。Une fleur / des fleurs

■

Les Anglais ont une rose sur la poitrine, les Français ont un coq.  
 ユニフォームの胸に英国チームはバラのマークをフランスチームは雄鶏のマークをつけている。  
 Plusieurs employés ont une voiture.  
 何人もの雇用者が車を持っている。  
 Pierre jette un coup d'œil sur la lettre de sa mère.  
 ピエールは母親からの手紙に目を通した。

21 

実際に1つあるものが単数、2つ以上あるものが複数で表現されているケースが比較的多いが、その場合でもあくまでもそれは話者の主観を通してしているのであって、事実に対応しているのではない。

Mme Legrand achète du poisson au marché.  
 ルグランさんは魚を市場で買う  
 Il y a des poissons rouges dans le bassin.  
 金魚鉢の中に金魚が何匹か居る。

22 

Un café ou un thé ?  
 コーヒーにしますか、紅茶にしますか。

23 

#### フランス語の語彙

► 泉(1978)61-65 étudier/apprendre  
 「apprendre の方は、前置詞と共に不定法を従えたり、接続詞 que と共に従属節を従えたりすることが出来ますが、étudier の方はできません。」  
 Il a appris à jouer de la flûte dans une école de musique.  
 彼は音楽学校でフルートを吹くことを学んだ。  
 Nous avons appris qu'elle était déjà partie pour la France.  
 私たちは彼女が既にフランスに立ってしまったことを知った。  
 J'apprends le français à l'école.  
 私は学校でフランス語を習う。

►

24 

Il étudie la philosophie à l'université.  
 彼は大学で哲学を研究する。  
 J'étudie son comportement.  
 私は彼の素行を調べている。  
 Elle a appris la cuisine française.  
 彼女はフランス料理を習った。  
 J'étudie la cuisine française.  
 私はフランス料理を研究している。

25 

► 「Etudier は技術、学問、事柄に関する知識を組織的に獲得するための努力や意志の実行を示す。apprendre と s'instruire は結果を示す。」(泉1978 p.63)

26  会話の文化(ケルバ・オレキオニの研究)

- 「すみません」(Désolé)「自分の行為に対して申し訳ない」ということを示す表現を使うことは、日本よりも少ない。
- 沈黙を嫌う。常に話をつなごうとする。
- 話が重なっても構わない。
- アイコンタクトは、フランスでは、「誠実さ」を表す。日本では比較的目的を合わせることは少ない。

■

■

27 28 

「外国語を知らぬものは、母国語も知らない」  
ゲーテ

29 

- 朝倉季雄(1967)『フランス文法覚え書』白水社
- 朝倉季雄(1981)『フランス文法ノート』白水社
- 朝倉季雄(1984)『フランス文法メモ』白水社
- 朝倉季雄(1988)『フランス文法論 ー探索とエッセーー』白水社
- 泉邦寿 1978『フランス語を考える20章』白水社
- 大橋保夫 他(1998)「フランス語とはどういう言語か」駿河台出版社
- 川本茂雄(1985)『言語の構造 ーフランス語そのほかー』白水社

30 

- 木下教授喜寿記念論文編集委員会(2005)『フランス語学の現在』白水社
- 坂原茂 他 編(2009)『フランス語学の最前線1』ひつじ書房
- 曾我裕典(2011)『中級フランス語つたえる文法』白水社
- ソシュール著、小林英夫訳(1972)『一般言語学講義』岩波書店
- 東京外国語大学グループ「セメイオン」(1985)フランス語学の諸問題I
- 東京外国語大学グループ「セメイオン」(1998)フランス語学の諸問題II
- 東京外国語大学グループ「セメイオン」(2005)フランス語学の諸問題III
- 東京外国語大学グループ「セメイオン」(2012)フランス語学の諸問題IV

31 

- 東郷雄二(2011)『中級フランス語あらかわす文法』白水社
- 西村牧夫(2011)『中級フランス語よみとく文法』白水社
- 髭郁彦、川島浩一郎、渡邊淳也(2008)『フランス語学概説』三恵社
- 松原秀治(2008)『フランス語の冠詞』白水社